

JALグループ国内線新便名体系（概要）

1. 新便名体系導入のポイント

(1)お客様へ判り易い便名体系に

- ・ 出発エリア別に便名を取り纏め、北方便から便名を割り振りました。

(2)関連会社を含めたJALグループ全体の便名体系を統一

- ・ JALグループとして便名重複を避けており、便名から路線がわかります。
- ・ JALグループ各社が同一路線に就航する場合にも、運航会社に関わらず、出発時間の早い便からの通し便名を基本としています。
- ・ JTA・RAC便については、当面現行便名（3桁）を継続しますが、将来的には本便名体系に組み込むことを想定し、便名枠を確保しています。

2. 新便名体系

< 羽田発着路線 - 全て千番台 >

羽田～方面		便名帯
幹線	～札幌	1000～1099
	～伊丹	1500～1599
	～関西	1300～1329
	～福岡	1700～1759
	～那覇	1900～1939
幹線以外	～北海道	1100～1199
	～東北・北陸	1200～1299
	～近畿・四国	1330～1499
	～中国	1600～1699
	～九州	1760～1899
	～奄美/石垣/宮古/久米	1940～1999

< 羽田発着路線以外 - 出発エリア別に整理 >

出発エリア	便名帯
伊丹・関西	2000～2599
北海道	2700～2899
東北・北陸	2900～2999
成田	3000～3099
名古屋	3100～3399
中国・四国	3400～3499
九州以南	3500～3899
臨時便・季節増便等	2600～2699
	3900～3999
	4000～4999

- ・ 2004年4月1日運航便より新便名となります。
- ・ 路線毎の具体的な便名は、1月下旬の2004年4,5月ダイヤ申請時に最終決定いたします。

以 上